

「当たり前」のことが「当たり前」にできる子を育てる第三小学校の教育

学校だより

No. 8

青梅市立第三小学校
校長 八木 慎一

令和6年10月31日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

「意欲」と「感動体験」

校長 八木 慎一

今月上旬くらいまでは霞川に雑草がたくさん生い茂っていましたが、涼しくなった最近はその勢いも確実に衰えてきました。そのおかげか、カワセミを見かけるチャンスも増えてきました。

さて、10月6日に行われました三小スポーツDAY（運動会）には、あいにくの天候の中、保護者や地域の皆様においでいただき、誠にありがとうございました。スケジュール変更や中断などへのご理解とご対応も本当にありがとうございました。また、PTAの皆様には様々な面でのご支援・ご協力を賜り、感謝いたします。子供たちがこのスポーツDAYで身に付けた力を、今後の教育活動に生かしてまいります。

ところで、私が最近読んで印象的だった本の一つに、脳科学者の茂木健一郎さんが書いた「感動する脳」があります。脳科学者である茂木さんによれば、人間の潜在能力を発揮するためには（脳を活性化させるためには）、「意欲」と「感動する体験」が重要なのだそうです。

子供は、初めてのことに積極的に取り組もうとする好奇心、言い換えるならば何にでも挑戦しようとする意欲にあふれています。子供の頃を思い出してみましょう。確かに毎日がドキドキする体験の連続だった気がします。隣町に出かけて知らない景色の中で、家に帰れるのかと不安になったり、初めておつかいを頼まれてお買い物をしたり、兄弟だけで電車に乗って祖母の家に向かったり。大人になってしまえば当たり前のことでも、子供にとっては新しい経験が身の回りにあふれていました。皆さんはいかがでしたか。今思えば、こうした小さな経験と、それを通して得られた感動を積み重ねて、自分自身に自信をつけてきたような気がします。このことから、子供たちの挑戦を応援し、積極的に様々な経験をさせて、子供たちが本来もっている「意欲」を生かすことが、大人に求められているのだと私は感じました。

11月15日（金）16日（土）に、本校の「作品展」を開催いたします。総計で1200点を超える子供たちの意欲あふれる作品を、ぜひご覧ください。「感動する体験」で、保護者や地域の皆様の潜在能力を活性化させてくれるかもしれません。

11月の主な予定 4月当初配布の年間行事予定から一部変更されていることがあります

11月	1日(金)	安全指導	
	2日(土)	東京都教育の日	
	3日(日)	文化の日	
	4日(月)	振替休日	
	5日(火)	避難訓練 【B時程】	
	7日(木)	どうぶつ教室(2年生)	
	8日(金)	社会科見学(3年生) 【B時程】	
12月	12日(火)	委員会	
13日(水)	4時間授業(研究授業のため)		
15日(金)	作品展(児童鑑賞日)		
16日(土)	作品展(保護者鑑賞日) 学校公開 【B時程】		
18日(月)	振替休業日		
20日(水)	笑顔と学びの体験プロジェクト(4年生)	タヤケランド	
21日(木)	音楽朝会 消防団に講話(3年生)		
22日(金)	小学校音楽会(6年生)	教育実習終	
23日(土)	勤労感謝の日		
25日(月)	短縄チャレンジ旬間始 遠足(4年生)		
26日(火)	英語能力テスト(6年生)	クラブ	
27日(水)	保護者会(5年生・6年生)	タヤケランド	
28日(木)	なかよしタイム 保護者会(1年生・2年生)		
29日(金)	青峰学園交流(3年生)	遠足(5年生)	保護者会(3年生)

【11月のB時程】

5日(火) 6日(水) 8日(金)
13日(水) 16日(土) 20日(水)
27日(水)

お知らせ

【登校報告書廃止と安心メールでの報告について】

現在、感染症による出席停止後には、登校の際【登校報告書】の提出をお願いしていましたが、11月より【登校報告書】の提出は不要となりました。

その代わりに、感染症にかかり出席停止の診断が出た場合は、安心メールにて以下の内容を入力し報告をお願いします。

《記入事項》【病名】【出席停止期間(〇月〇日～〇日をお休みします等)】の入力をお願いします。

【新しい先生が加わりました】

5・6年生家庭科講師 宮本香里(みやもと かおり)先生

10月2日より5・6年生家庭科講師として本校に勤務となりました。勤務は月・水・金となります。よろしくお願いいたします。

こんな取組を

今年度職員間で授業公開と学期ごとに一人一人が目標を立てて積極的に取り組んでいます。教室に足を運んだ時には、子供たちの頑張りに対して、ちょっとしたコメントを入れた付箋を残したり、子供たちの頑張りを直接褒めたりしています。教員間でも陽口を意識した関わりを日常的に行い、「みんなで見る。関わる。」意識を大切にしています。



【職員室内に目標掲示】